

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
会長 遠藤 秀治

第 294 回岐阜県病院薬剤師会研修会開催のご案内

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 27 年 3 月 21 日（土）午後 2 時 30 分より

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695 - 2 Tel (058) 296 - 1200

【内容】 総合司会 中濃厚生病院 薬剤科 辻 一智

1、 会長挨拶

2、 会員発表

1) 病院紹介 医療法人社団登豊会 近石病院
近石病院 薬局 三浦 啓子 先生

2) 大腸癌化学療法(中等度催吐性リスク)におけるグラニセトロンと
パロノセトロンの制吐効果調査
JA 岐阜県厚生連中濃厚生病院 薬剤科 足立 茂樹 先生

3) 入院サポートセンター開設に伴う薬剤師の新たな業務展開
—地域連携型の術前休薬対応を開始して—
高山赤十字病院 薬剤部 若田 達朗 先生

参加費：薬剤師会会員 500 円 非会員 2000 円

* 当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

主催 岐阜県病院薬剤師会

入院サポートセンター開設に伴う薬剤師の新たな業務展開 ー地域連携型の術前休薬対応を開始してー

○若田達朗¹⁾、間 英之¹⁾、鎌田聖美¹⁾、上田秀親¹⁾
阪口直樹¹⁾、西洞正樹¹⁾、和田泰明¹⁾、吉岡史郎¹⁾

1) 高山赤十字病院薬剤部

(目的)

当院は平成 25 年 6 月、入退院病床総合管理センターを目指し、入院サポートセンターを開設した。これを機にサポートセンターにおける薬剤師業務として、これまで各科外来でそれぞれ個別に対応し、苦慮していた入院手術予定患者に対する術前休薬の体系的な対応を構築・開始した。地域性等の問題もあり、患者さんの常用薬の確実なスクリーニング、休薬対象薬の再調剤等において、薬薬連携を中心とした地域医療連携は不可欠であったが、受け入れは良好であり、意見交換をしてフォーマットを整えながら業務を遂行している。入院サポートセンターにおける術前休薬に対する薬薬連携の取り組みを報告する。

(方法：開設までの経緯)

1) 入院サポートセンター開設プロジェクトチームと薬剤部で予定入院の術前休薬システムを検討し、休薬指示書を使用した運用システムを構築した。
2) 院内での各科医局会、外来看護師等を中心に説明会を行い、提案された課題については調整・修正を行った。
3) このシステムには薬薬連携を中心とした飛騨地域医療連携は不可欠であり、高山市薬剤師会幹部と打ち合わせしながら、まずは高山市薬剤師会へ説明会を行った。提案があった開局薬剤師留意事項 Q & A・問い合わせフォームなども整え、後追いにはなしたが、下呂市・飛騨市薬剤師会に対しても説明会を行った。また医師会にも院長より協力要請して頂いた。
4) 平成 25 年 6 月 4 日センター稼働と同時に術前休薬対応をスタートした。稼働後の問題点等を院内・薬剤師会等で協議・修正しながら現在に至っている。

(結果)

平成 25 年 6 月 4 日から平成 26 年 6 月 20 日までで、休薬スクリーニングを含むコンサルテーション総数は約 1350 件、うち何らかの休薬対応を実施した数は 260 件を越えている。対象患者は飛騨全域に渡っているが、情報提供・休薬調剤については各施設において迅速に、快く対応頂いており、現在順調に展開できている。休薬スクリーニングにおいては、医師が把握していなかった休薬対象薬も新たに発見されている。また、休薬確認報告書をカルテ内に作成し、その内容をかかりつけ薬局に連絡・共有することにより院内外への情報発信も可能となった。その一方でいくつかの問題も発生し、周知を行いながら対策を講じている。

(考察)

当院で統一した術前休薬対応を体系的に実施する事は長年の懸案であった。飛騨地区では先進的な薬薬連携・地域医療連携がすでに始まっており、良いスタートを切る事ができた。今後も色々なケース・問題点等に対応しながら、患者さんにとって有意義なシステムを考慮していくと共に、持参薬の有効活用への土台として行きたい。

さらに休薬そのものにも脳梗塞等、リスクはあるため、リスク分類等を加味し、地域医療機関等とも連動した休薬マニュアル作成も視野に入れて行きたいと考えている。

学術講演会のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび下記のとおり学術講演会を開催させていただき運びとなりました。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内
申し上げます。

謹白

記

日時：平成27年3月21日（土）午後4時00分より

場所：長良川国際会議場 4階 大会議室

岐阜市長良福光 2695-2 TEL (058) 296—1200

座長： 関中央病院 薬剤科長 酒向 幸 先生

■特別講演 1

『抗血栓療法による消化管粘膜傷害の現状と今後の展望』

朝日大学歯学部附属村上記念病院 消化器内科

教授 八木 信明 先生

■特別講演 2

『抗血小板薬の安全で有効な使い方』

国立循環器病研究センター病院

脳血管内科 部長 豊田 一則 先生

共催：岐阜県病院薬剤師会

武田薬品工業株式会社

※ 講演会終了後、グループディスカッションを計画しております。